



消費税10%増税は中止し、 「くらしの明日に希望を

区民のみなさんから、「いま消費税を増税したら、くらしが成り立たなくなる」、「日本の経済は破綻する」との声が広がっています。私の街頭での訴えへの共感の声援も多く、対話の中でも、消費税増税への怒りの声が出されています。

世論調査でも、「消費税増税中止」が多数を占めています。区民のくらしと日本経済を守るためにも、消費税増税はきっぱり中止させましょう。

「景気悪化」のもとでの増税は無謀
そもそも消費税を8%に増税した2014年に比べ

て家計消費は、1世帯当たり年25万円も落ち込み、実質賃金は年平均10万円も下がっており、政府も景気悪化の可能性を否定できなくなっています。

米中経済戦争が深刻化し、世界経済の減速が進む中で、米国も中国も景気対策のための大型減税を実施している

かつて消費税を導入した時も、5%、8%へと増税した時も政府の景気判断は、「好景気」か「回復期」でした。それでも消費税の増税は消費不況の引き金を引きました。今回、景気悪化のもとで消費税を増税すれば、歴史的にも前例のない無謀な政策となります。

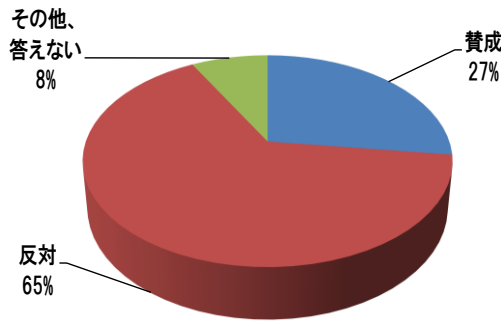
消費税増税反対が65%

朝日新聞の3月～4月にかけての世論調査

●質問

今年10月に消費税を10%に上げることに賛成ですか、反対ですか。

10月からの消費税増税に



日本共産党の大門実紀史議員は「このまま増税を強行しても景気は悪くならないと考えるのか」と追及。麻生太郎財務相は「駆け込み需要がまだ起きていない」ことを理由に、「景気が消費税

の値上げと同時に急激に下振れするとは考えていない」などの楽観的な見方を示しました。大門氏は、政府の景気「悪化」判断の次の判断で景気「後退」にならないか、例はないと指摘し対応をただしました。麻生氏は増税中止を検討する考えは一切示しませんでした。

消費増税にしがみつくと、安倍政権を国民の声で追い詰めよう
内閣府の3月の景気動向指数に基づく景気悪化判断が出された翌日の14日、参院財政金融融委員会では、最悪の状況のもとでの消費税率10%への増税に批判が相次ぎ、自民党席からも「おかし

「消費税の10%増税は、今からでも中止を」の声を、党派の違いを超えて広げに広げて、増税を中止させましょう。

また大門氏は、財務省の「消費税率の引上げに伴う価格設定について」と題するガイドラインが、駆け込み需要と増税後の反動減の「平準化」を口実に「増税の前に値上げするのは自由」などと“便乗値上げ”を奨励しているほか、前回増税時に禁止した「消費税還元セール」も「消費税」の表示がなければ容認していることを指摘。大手スーパーの還元セールに中小は太刀打ちできず、増税緩和措置としては「逆効果だ」「大混乱になる」と批判しました。

便乗値上げも容認ー国民のくらしを任せるわけには行きません
また大門氏は、財務省の「消費税率の引上げに伴う価格設定について」と題するガイドラインが、駆け込み需要と増税後の反動減の「平準化」を口実に「増税の前に値上げするのは自由」などと“便乗値上げ”を奨励しているほか、前回増税時に禁止した「消費税還元セール」も「消費税」の表示がなければ容認していることを指摘。大手スーパーの還元セールに中小は太刀打ちできず、増税緩和措置としては「逆効果だ」「大混乱になる」と批判しました。

日本共産党は、「消費税に頼らない財源」を提案

- 大企業への優遇税制を改め、中小企業なみの負担を・・・4兆円
- 富裕層優遇の証券税制を改め、最高税率を引き上げる・・・3.1兆円
- 米軍への「思いやり予算」などを廃止する・・・0.4兆円

合計7.5兆円

「くらしに希望を」ー日本共産党の三つの提案

1. 8時間働けば、普通にくらしを
直ちに全国一律で時給1000円に引き上げ、1500円をめざす。など
2. くらしを支える社会保障を
高すぎる国保料を半額に引き下げ、減らない年金と低年金者に年間6万円の底上げ給付を
3. お金の心配なく学び、子育てができる社会を
大学・専門学校の授業料を半減。無償化をすすめる。70万人に月3万円以上の給付制奨学金。学校給食の無償化など。

税NO!の審判を下し、10月からの10%増税をストップさせましょう。